

令和 3 年度事業計画

令和3年度事業計画について

I 事業方針

本連盟は創立 70 周年を契機に策定・公表した新世紀戦略アクションプランの具体的振興策として、新世紀戦略事業推進方策 2020「百年構想グランドデザイン」の設置を行った。取組基本事業として、

- ①財務組織対策事業（基盤づくり）
- ②競技運営対策事業（振興方策・推進方策）
- ③育成活動推進事業（育成方策）

を掲げ、具体的・計画的に実行していくため「基盤づくり」「振興」「推進」「育成」「普及」の5つの方策を実施することとした。

基盤づくりにおいては、高いガバナンスの確保が求められる中央競技団体として、スポーツ団体ガバナンスコードを十分に理解し、対応を行っていく。また、振興・推進方策では、安全で安心、楽しみ・親しみ、誰とでも・いつでも・どこでもできる地域に根ざした軟式野球を構築すべく、各年齢層を対象に競技者の確保を行っていく。広く愛され信頼される組織構築のため、加盟団体をはじめ、関係団体等との連携体制を強固にし、事業を推進する。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会および、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の成功に向けた取り組みにも継続して協力して行く。

II 事業内容

（公1）軟式野球大会開催事業

各種軟式野球大会では、カテゴリーを問わず、スポーツマンシップの現場への浸透のための対策を講じて行く。少年部においては、野球障害予防を主に育成主義への転換を図り、一般部では、競技力向上と大会認知度の向上、生涯スポーツの推進に対応して行く。

競技者登録システムの本格導入に向け、組織体制の改善を行い、登録の一元管理はもとより、競技者の帰属意識向上のため、十分な対応を行っていく。

審判員養成では、引き続き、人間力向上のためのプログラムを導入し、研修会・講習会を開催する。

（公2）軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

各種軟式野球大会普及促進助成及び後援事業を行い、普及振興を促進して行く。

スポーツ指導者養成事業のうち、公認学童コーチの養成においては、web 学習コンテンツを制作し、養成効率と指導者の質の向上を図る。

記録員・放送員の研修でも web 学習コンテンツの制作を行い一層充実したものとして行く。

広報活動事業では、連盟 HP をリニューアルし、時代に即した内容の発信に努め、広報誌の発行とともに、広く普及活動を推進して行く。

（収1）野球用具検定事業

用具公認社との契約を更新する。本連盟が所有する各種標章等の無断使用、不適切な使用等がないよう適切な管理を行い、ブランド価値の向上を図る。

また、公認用具の普及事業は、公認球普及振興のために、支部へ購入費用を助成し、促進を図って行く。

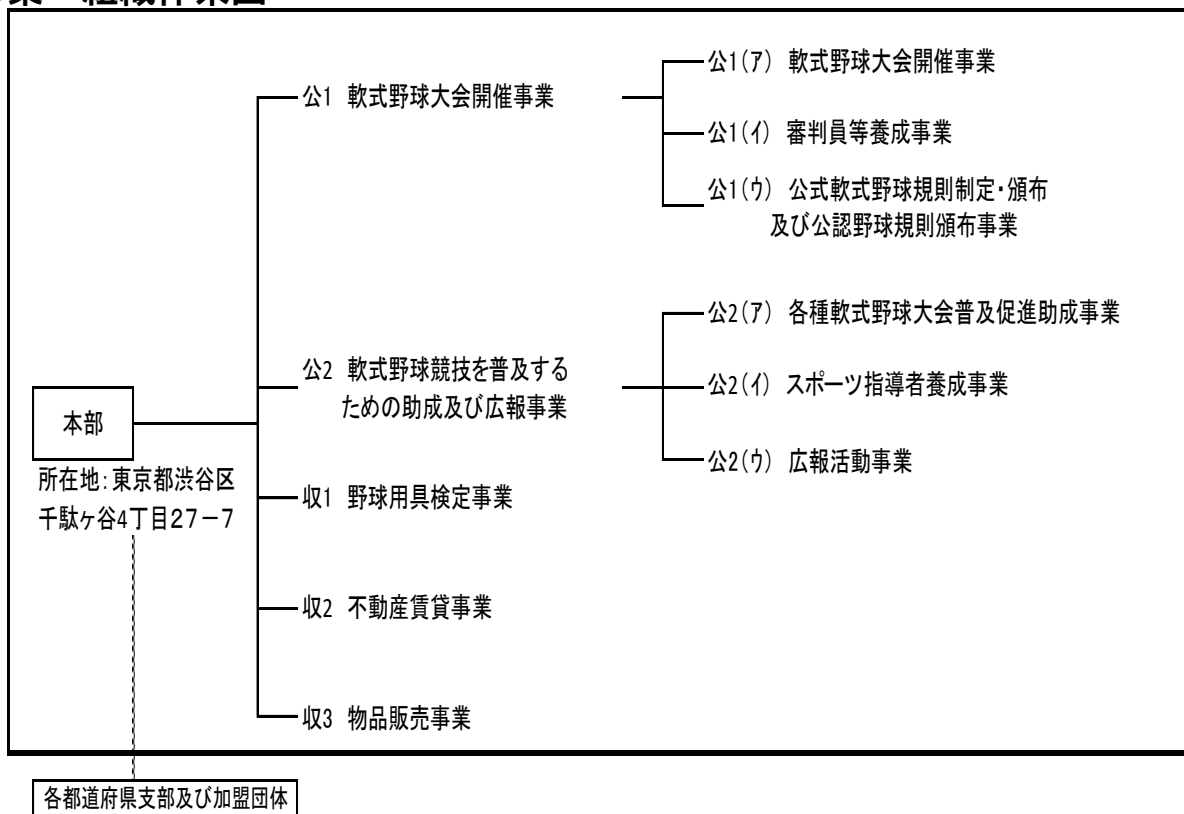
(収2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の資産活用と利用促進を図っていく。

(収3) 物品販売事業

制定物品に係る商標活用と販売促進を図っていく。

事業・組織体系図



1. 公 1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 下表のとおり、令和3年度各種軟式野球大会を開催する。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る可能性も含んでいるため、十分な感染症対策を 실시、実施するために必要な費用を助成する。

令和3年度 各種全国大会等日程

大会名	会 期	主管 支部	参加 チーム数	会 場
天皇賜杯第76回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	10月15日(金)～ 20日(水)	東京	56	八王子市、昭島市、町田市、府中市、大田区、世田谷区、稲城市
高松宮賜杯第65回 全日本軟式野球大会	1部 9月4日(土)～ 6日(月)	岡山	32	倉敷市、総社市
	2部 10月22日(金)～ 25日(月)	熊本	32	熊本市、八代市、山鹿市、荒尾市
高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月16日(月)～ 22日(日)	新潟	54	新潟市、三条市、新発田市
文部科学大臣杯第12回全日本少年春季軟式野球大会 日本生命 トーナメント	9月18日(土)～ 21日(火)	静岡	55	未定
第38回全日本少年軟式野球大会	8月16日(月)～ 19日(木)	神奈川	16	横浜市
第6回全日本中学女子軟式野球大会 (SPトーナメント)	8月20日(金)～ 25日(水)	京都	50 (予定)	京都市、宇治市、城陽市
第76回国民体育大会 (三重とこわか国体)	成年男子 9月26日(日)～ 29日(水)	三重	32	四日市市、亀山市、伊賀市、鈴鹿市、名張市
第43回 東日本軟式野球大会	1部 5月29日(土)～ 31日(月)	山梨	26	甲府市、南アルプス市、大月市、上野原市
	2部 5月22日(土)～ 24日(月)	富山	28	富山市、魚津市、高岡市、南砺市
第43回 西日本軟式野球大会	1部 5月15日(土)～ 17日(月)	鳥取	26	米子市、南部町、境港市、伯耆町
	2部 6月5日(土)～ 7日(月)	京都	26	京都市、宇治市、福知山市
第29回東日本軟式野球選手権大会 いちご一会とちぎ国体リハーサル大会	10月29日(金)～ 11月2日(火)	栃木	28	宇都宮市、小山市、日光市、矢板市、益子町
第25回 西日本軟式野球選手権大会	10月29日(金)～ 11月1日(月)	佐賀	27	佐賀市、鹿島市、嬉野市
第66回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月5日(金)～ 8日(月)	愛知	13	豊川市、新城市
日本スポーツマスターズ2021	9月18日(土)～ 20日(月)	岡山	32	倉敷市、総社市
NPB ガールズトーナメント2021	7月30日(金)～ 8月5日(木)	愛媛	49 (予定)	松山市、今治市、八幡浜市・大洲市、西予市、内子町
ス ポ ニ チ 杯 第5回全日本軟式野球大会	11月20日(土)	沖縄	4	那覇市
第4回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)	6月5日(土)～ 7日(月)	岡山	50 (予定)	倉敷市、総社市
第43回 全国中学校軟式野球大会	8月20日(金)～ 24日(火)	千葉	25	千葉市、市原市、袖ヶ浦市、浦安市
第43回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月13日(金)～ 16日(月)	沖縄	16	那覇市、豊見城市

(2) 競技者登録の一元管理、登録事務の効率化を目指し、競技者登録システムを導入する。システム導入に関連し、規定の整備を併せて行う。

(イ) 審判員等養成事業

下表 (1) (2) (3) の審判養成講習会を実施予定

(1) 技術研修員講習会

対象地区	期 日	場 所
全 国	2月26日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市

(2) 技術指導員地区研修会 (ブロック別指導員)

対象地区	期 日	場 所
北海道・東北地区	3月6日(土)～2日間	宮城県・仙台市
関東地区	3月6日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市
北信越・東海地区	3月6日(土)～2日間	静岡県・静岡市
近畿・中国・四国・九州地区	3月6日(土)～2日間	岡山県・岡山市

(3) 審判ブロック講習会 (ブロック別)

対象地区	期 日	場 所
北海道	5月14日(金)～3日間	北海道・北見市
東北	3月19日(金)～3日間	福島県・福島市
関東	3月12日(金)～3日間	群馬県・前橋市
北信越	10月22日(金)～3日間	福井県・福井市
東海	11月20日(土)～3日間	岐阜県・神戸町
近畿	11月19日(金)～3日間	奈良県・橿原市
中国	3月19日(金)～3日間	広島県・広島市
四国	10月22日(金)～3日間	高知県・高知市
九州	3月12日(金)～3日間	熊本県・熊本市

(4) 全国審判技術指導員スキルアップ研修会の実施

審判技術指導員の資質向上と審判組織の活性化のため、研修会を実施する。

対象地区	期 日	場 所
全 国	12月4日(土)～2日間	埼玉県・北足立郡伊奈町

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

『競技者必携2021』(公認軟式野球規則)は61,000部を頒布予定。また、2021年公認野球規則は、47,000部の頒布を予定。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

- (1) 軟式野球の全国的な組織である軟式野球関係団体に対し、全国大会開催の助成金を交付する。また、その他全国的な大会を主催する団体等に対しては大会の名義後援を行い、学童から古希にわたる生涯野球として軟式野球の普及を図る。

(イ) スポーツ指導者養成事業

競技者の快適なスポーツライフの構築を図り、スポーツ・インテグリティの確保のため、その推進の一翼を担う指導者の養成を、全日本軟式野球連盟の重点事業として行う。

指導者の質及び指導力の向上、情報交換やネットワークづくりなど指導者相互の交流を図る目的で(1) (2) (3) の各講習会を実施する。

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ3養成講習会専門科目講習会

日 程	場 所
11月～12月(予定)	東京都(予定)

(2) 成長期のスポーツ傷害予防・指導者講習会

2021年11月～2022年2月の間に全国9ブロック10会場にて開催予定。実施日程は未定。

① 前記 公1-(イ)の(2)(3)の各講習会、研修会は、(公財)日本スポーツ協会(以下「JSP0」という。)公認スポーツ指導者(コーチ1、コーチ3)資格の更新研修として位置付けされている。

② 2021年度JSP0公認コーチ3養成講習会(共通科目講習、JSP0担当・専門科目講習、全軟連担当)の受講者の募集は全軟連が行う。受講生募集は、明年2月より実施予定としており、女性スポーツの推進の観点から女性指導者に対するの募集を重点的に行う。
なお、全軟連が担当する専門科目講習は明年11月～12月に開催予定としている。

③ 2021年度JSP0公認コーチ1養成講習会は、都道府県体育(スポーツ)協会が都道府県支部(連盟)と調整のうえ共通及び専門科目講習会を計画実施する。(都道府県体育(スポーツ)協会と要協議)
なお、今後もコーチ養成講習会同様、積極的に実施する方向で各都道府県支部の協力をいただきたい。

(3) ガバナンス・コンプライアンス研修会の実施

スポーツ団体のガバナンス体制の整備が急務である現状から、理事・監事・評議員を対象にガバナンス・コンプライアンス及び各種ハラスメントを含む指導、情報共有を目的とした研修会を実施する。集合形式開催と合わせてweb受講可能な体制を整備する。

(4) 日本スポーツ協会公認コーチ有資格者への研修会の実施

公認コーチ資格取得者間の情報交換と、有資格者としての意識の向上、レベルアップを目的として研修会を実施する。

(5) 全軟連公認学童コーチ養成講習会の実施と有資格者義務付け導入

学童野球環境の改善を目的に、学童チーム指導者を対象に公認学童コーチ養成を実施する。講習会形態は、都道府県支部が開催する集合形式の他、広く普及推進する必要性があることから、オンデマンドコンテンツを制作し、web受講可能な体制を整備する。
本資格の義務付け導入を2024年シーズンとし、チームへの周知を積極的に実施する。

(6) 野球競技者減少が課題となっている現状から小学校低学年ならびに未就学児を対象とした野球振興策として、ベースボール5等を活用し対応を図る。

(ウ) 広報活動事業

- (1) 連盟ホームページの活用
連盟 HP のコンテンツ強化、動画配信、一球速報などを積極的に行い、大会開催中以外でも閲覧数が増えるよう、工夫をしていく。
各種全国大会におけるデジタルスコアシート方式導入を図り、公式 Facebook や Instagram での情報発信の強化・促進を引き続き行う。
- (2) 広報誌の発行
連盟機関誌「全軟連 NEWS」を創刊する。学童・少年登録選手向け広報誌「キャッチボール」を発行・配布する。
- (3) 海外における軟式野球ボールの認知度向上への普及活動
海外での軟式野球ボールの認知度向上を図るため、アジアを中心に普及活動を行う。

3. 収 1 野球用具検定事業

ボール、バット、ヘルメット、キャッチャーマスク、プロテクター・レガースそれぞれについて用具の検定を行う。次世代ボールに適した用具の推進を実施するため、情報収集を行っていく。

4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の1階、2階、5階スペース、及び駐車スペース3台分を引き続き賃貸する。

5. 収 3 物品販売事業

役員・審判員バッジ及びワッペン、役員帽子、審判ベルト等の制定物品を販売する。
制定物品は、都道府県支部からの注文によりのみ販売とし、商標の無断使用を防ぐ。
加盟支部の褒賞品として使用できる、連盟マーク入りの賞状用紙の販売を併せて実施する。

6. その他連盟が推進する事業・活動

- (1) 職業野球退団者の本連盟復帰
職業野球退団者の連盟復帰申請に対し、資格審査を実施する。
- (2) 表彰関係
①表彰委員会規程による連盟の功労者を選出し、評議員会の席上で表彰する。
②読売新聞社主催 日本スポーツ賞へ競技団体別最優秀賞チームを推薦する。
- (3) 開発と途上国への軟式野球用具寄贈について
各支部ならびに一般の方々の協力をいただいて野球用具を収集し、野球途上国への用具寄贈を引き続き実施する。
- (4) 第11回 BFA U12 アジア選手権 日本代表チーム派遣
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度から延期となっている本大会は、BFJ および NPB エンタープライズの侍ジャパン事業として12歳以下(U12)の日本代表チームを編成し、アジア選手権へ派遣する予定。